

コミュニティ通訳・翻訳ボランティア 語学スキルチェック事業（中国語） 仕様書

平成26年7月

本仕様書は、大阪府国際化戦略アクションプログラムに基づく外国人の受入環境整備事業のうち、多言語支援制度の構築・整備事業に係る「コミュニティ通訳・翻訳ボランティア語学スキルチェック事業（中国語）」を受託する者の業務について、必要な事項を定めるものとする。

1 事業名称

コミュニティ通訳・翻訳ボランティアにおける語学スキルチェック事業（中国語）
（H26年：コミュニティ通訳・翻訳ボランティアのスキルチェック 中国語作成・実施業務）

2 事業内容

(1) 目的

公益財団法人大阪府国際交流財団及び市町村国際交流協会等において、コミュニティ通訳・翻訳ボランティア登録者及び登録希望者のレベルを正確に把握し、適正なレベル分けを行うことで、コミュニティ通訳・翻訳ボランティアのさらなる有効活用を図る。

(2) 事業対象者

コミュニティ通訳・翻訳ボランティア登録者及び活動を希望する府民

(3) 委託対象者

本事業は、コミュニティ通訳・翻訳ボランティアに対して、客観性の高いスキルチェックを図ることが目的ですので、以下のすべての条件を満たす事業者が対象となります。

- ・ 通訳・翻訳者の語学スキルチェックに関して、客観性の高い評価をすることのできる事業者
- ・ 多言語通訳・翻訳を取り扱っている事業者

(4) スキルチェックテスト履行場所

大阪府内（ただし、スキルチェックテストの実施回数が1回の場合は大阪市内とする。）

(5) 委託内容

コミュニティ通訳・翻訳ボランティアにおける中国語スキルチェック作成・実施業務
※事業者は必要に応じて（公財）大阪府国際交流財団からの助言を受けることとする。

【語学スキルチェックの概要】

- ・ チェックは下記の通り、A～Cの設問があります。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ 設問A CDから聞こえる日本語を聞き、中国語で通訳する（設問数6）・ 設問B CDから聞こえる中国語を聞き、日本語で通訳する（設問数6）・ 設問C 日本語で書かれた文章を、中国語に翻訳する（設問数6） |
|--|

- ・ 設問A・Bについては、問題3分、通訳時間5分、Cは翻訳時間30分を目安としています。
- ・ 通訳に関するテストは筆記ではなく、口頭で行うことを前提として作成しています。
- ・ 設問内容に関しては、以下の6分野に関連して作成しています。

大分類	小分類
生活	① 行政サービスと在留資格
子ども	② 母子保健（検診や予防接種）
	③ 学校教育（面談・懇談・高校進学含む進路相談）
福祉	④ DV・児童虐待
	⑤ 年金
	⑥ 国民健康保険

(ア) スキルチェック問題及び回答例の翻訳、ネイティブチェック、校正

- ・ 設問A及びCは中国語での回答例の作成。
 - ・ 設問Bは問題文（日本語又は英語）を中国語へ翻訳。
 - ・ 設問A、B及びCに関する状況設定の翻訳。
 - ・ 翻訳及びネイティブチェックは、指定のフォーマット上での作業になるため、校正も伴います。
- ※公募参加事業者には、コミュニティ通訳・翻訳ボランティア～語学スキルチェック実施ガイド～問題集（日本語⇄英語）を提供しますので、内容の詳細は確認してください。
（平成26年8月19日（火）17時までに必ず返却してください。）

(イ) スキルチェックテストに係る音声データ作成、編集

- ・ 設問Bに関する音声データ（中国語）の作成。
 - ・ 中国語については、標準語で作成し、男性及び女性各1名以上のネイティブスピーカーがナレーターを務めること。
 - ・ 作成した音声データは、スキルチェック実施時に使用しやすいように、編集すること。
- ※公募参加事業者には、コミュニティ通訳・翻訳ボランティア～語学スキルチェック実施ガイド～問題集（日本語⇄英語）別添音声・文書素材CDを提供します。
（平成26年8月19日（火）17時までに必ず返却してください。）

(ウ) スキルチェックテストの実施と採点・評価

- ・ スキルチェックテストの実施。
（合計40名。1名あたりに必要なチェック時間は概ね2時間。問題は（ア）及び（イ）で作成したもののなかから（公財）大阪府国際交流財団が指定したものを使用し、当日用に準備すること。なお、チェックは通訳、翻訳の順に行うこと。）
- ・ 実施については、多くの対象者が受検しやすいように、日時・場所・実施回数、チェック実施方法等を設定すること。
- ・ スキルチェックテスト日には、併せて（公財）大阪府国際交流財団が面接を実施（費用負担含む。）しますので、それを考慮し、スキルチェックの会場及び時間割については、事前調整の上、決定すること。
（参考：時間割は①面接→通訳→翻訳②通訳→翻訳→面接のいずれかのパターンになります。）
- ・ スキルチェックの採点と評価をし、結果を（公財）大阪府国際交流財団へ通知すること。
- ・ 採点・評価については、該当言語で通訳・翻訳レベル（以上）の語学力のある者が、最低でも2名以上の体制で担当し、評価基準、評価手順等については、予め共有しておくこと。
- ・ 採点票・評価表については、財団指定の様式を使用すること。
- ・ キーワード等の訳出については、担当者によって齟齬がでないよう、予め単語リスト（200語程度）を作成しておくこと。
- ・ 単語リスト作成の際には、その単語リストが正しいと判断できる客観的な情報（出典元等）を特記しておくこと。

(6) 成果物

- ・ 成果物として次の2点を提出すること。
（ア）当該業務で作成したデータ、資料一式
 - ・ 中国語スキルチェックテスト問題
 - ・ その他、提出すべき資料

(イ) (ア) を含む報告書

3 委託期間

平成26年8月下旬予定～平成27年2月28日

ただし、スキルチェックテストは平成26年11月から12月上旬までに実施すること。

4 委託金額の上限

150万円（消費税及び地方消費税を含む）

※ 委託先候補者決定後、委託業務詳細仕様書を提示し双方協議のうえ、今回の費用提案額を基本に、契約金額を決定する。

5 審査基準

審査項目		配点	評価の基準
業務の理解度 組織体制	事業目的との 整合性	30	・本事業に対する理解、知識が十分にあるか。
	組織体制		・委託業務を遂行できる事業者（資金、計画性等）であるか。 ・コミュニティ通訳・翻訳分野における制度や用語等を理解し、それをふまえた仕上がりのできる組織体制になっているか。
提案内容の 妥当性、充実 度	企画内容	40	・各市町村国際交流協会等が、円滑にテストを行えるような手法を提案できるか。 ・テスト受検者が、自分の能力を把握し、それを活用して、さらに向上できるような評価を行えるか。
	評価体制	10	・事業の段階に応じて、逐次、報告・検証・評価を行えるようになっているか。
事業金額		20	・効果的で妥当な経費が提案されているか。 (20点×提案価格のうち最低価格/提案価格)
合計		100	

6 委託事業の実績報告等

委託期間終了後、10日以内に事業実績報告書に経費の内訳及び必要書類を添付のうえ、提出すること。

7 再委託について

採択された委託事業の一部について再委託を行う場合には、あらかじめ再委託先、業務範囲、必要性、金額、履行体制に関する事項を記載した計画書を提出し、許可を得ること。ただし、次に該当する場合は、再委託を承認しない。

(ア) 業務の主要な部分を再委託すること。

(イ) 契約金額の相当部分を再委託すること。

(ウ) 当該プロポーザル参加における他のプロポーザル参加者に再委託すること。

(エ) プロポーザルの選定理由と不整合を生ずる再委託をすること。

8 著作権等の取り扱い

(1) 成果物に関する著作権、著作隣接権、商標権、意匠権及び所有権（以下「著作権等」という。）は当財団が保有する。

(2) 成果物に含まれる受託者又は第三者が権利を有する著作物等（以下「既存著作物」という。）の著作権等は、個々の著作者に帰属する。このため、納入される成果物に既存著作物が含まれる場合は、受託者が当該既存著作物の使用に必要な費用の負担及び使用許諾契約等に係る一切の手続を行う。

9 その他

この仕様に定めのない事項又は疑義が生じたときは、別途協議するものとする。